

診療科(講座)紹介

- 1) 臨床の標榜は、歯科口腔外科で、口腔の奇形、歯性炎症、腫瘍、外傷、顎関節疾患などを扱います。
- 2) 主な研究は、口腔腫瘍、唾液と咀嚼、口蓋裂と顎発育、インプラント義歯などです。
- 3) 歯科医師の必修研修は1年、その後、1年のアドバンスコースに、さらに口腔外科専門医コース（4年）が大学院生になります。

指導医(スタッフ)紹介



部長
(准教授・附属病院教授)
長谷川 博

昭和56年 新潟県立新潟高等学校卒業
昭和63年 新潟大学歯学部卒業
福島県立医科大学歯科口腔外科
大原総合病院 口腔外科・歯科
日本口腔外科学会専門医・指導医
教育専門分野
1) 口腔外科学
2) 口腔組織学
臨床研究分野
1) 口腔癌の治療
2) 口蓋裂と顎発育
3) インプラントなど
研究分野
1) 動注化学療法的基础と臨床
2) 唾液中の神経成長因子について



副部長(助教)
菅野 寿

昭和57年 東京都立小松川高等学校卒業
平成元年 北海道大学歯学部卒業
日本口腔外科学会専門医
教育専門分野
1) 口腔外科学
2) 口腔組織学
臨床研究分野
1) 口腔外科学
研究分野
1) 三叉神経の細胞分子学

歯科医師初期臨床研修(1年)

歯科医師に求められる基本的診療(態度、技術および知識)を身に付け、生涯研修の第一歩とする。

統一プログラムで、ローテート研修を実施する。

ア. はじめに、当院歯科口腔外科4ヶ月(入門コース、全員)
イ. 4ヵ月後、協力型臨床研修施設を4ヶ月ごとに研修する。

1年目の研修協力施設での研修は、8ヶ月とする。

* 歯科医師臨床研修(必修化研修)終了後、さらに1年間のアドバンスコースをもうける。

歯科医師臨床研修アドバンスコース(1年)

特徴は、本院歯科口腔外科(6ヶ月)での研修のほか、本院麻酔科研修(6ヶ月)が組み込まれている点である。歯科口腔外科で、より広範囲の歯科医療を修得する。また、麻酔科での研修では、全身管理に必要な知識、技能を学ぶ。

後期研修(専門医養成コース)プログラム

卒後臨床研修(2年)終了後、更なる臨床医の養成を目的とする4年間の臨床研修プログラムである。

【研修1年目】

	修得すべき手技や手術経験目標数など
経験目標	術者として40症例、入院症例で担当医として 20症例
知識	医の倫理及び患者の心理に関する知識の習得 口腔外科疾患に対する適切な診断、治療及び手術手法の修得 患者の全身管理に関する知識の習得
実技	難抜歯手術、埋伏歯手術、嚢胞の摘出手術、歯根端切除術
学術・研究	症例報告の演者として学会発表(1) 症例報告の学会誌への論文化(1)

【研修2年目】

	修得すべき手技や手術経験目標数など
経験目標	術者として30症例、入院症例で担当医として 20症例
知識	研修1年目からの積み重ね 2年目の実技ができる治療および手術法の修得
実技	顎骨骨折手術、顎炎ないし蜂窩織炎手術、静脈内鎖静法
学術・研究	症例報告の演者として学会発表(1) 症例報告の学会誌への論文化(1)

【研修3年目】

	修得すべき手技や手術経験目標数など
経験目標	術者として20症例、入院症例で担当医として 20症例
知識	研修1、2年目からの積み重ね 3年目の実技ができる治療および手術法の修得
実技	顎骨骨折手術、上顎洞炎根治手術、術後性上顎嚢胞摘出術 顎炎/蜂窩織炎手術、インプラント埋入手術
学術・研究	臨床研究論文の演者として学会発表(1) 臨床研究論文の学会誌への論文化(1)

【研修4年目】

修得すべき手技や手術経験目標数など	
経験目標	術者として20症例、入院症例で担当医として 20症例
知識	研修1、2、3年目からの積み重ね 4年目の実技ができる治療および手術法の修得
実技	良性および悪性腫瘍の手術、顎変形症の手術、口蓋裂の手術 骨、皮膚、粘膜などの移植手術
学術・研究	臨床研究論文の演者として学会発表（1） 臨床研究論文の学会誌への論文化（1）

後期研修協力病院

関連病院名	所在地	診療科	指導責任者
1 こわた歯科医院	浪江町	歯科	(院長) 木幡 瑞秋
2 松本歯科医院	南相馬市	歯科	(院長) 松本 断
3 長峯歯科医院	会津若松市	歯科	(院長) 長峯 岳司
4 大原綜合病院	福島市	歯科口腔外科	(部長) 佐藤 栄需
5 有隣病院	喜多方市	歯科口腔外科	(科長) 木島 寛
6 会津西病院	会津若松市	歯科	(科長) 松本 孝之
7 大町病院	南相馬市	歯科口腔外科	(科長) 石田 大知

大学院について

○大学院

後期研修口腔外科専門医コースと大学院生との併願は可能です。

● 指導医からのメッセージ

- ・ 口腔外科を主に指導しています。
- ・ 全身管理能力を身につけられます。

専門医受験資格のために必要とされる技能・手技目標

○（社）日本口腔外科学会の専門医の要件

- 1) 6年以上の日本口腔外科学会の会員
- 2) 学術論文3編以上、1編は口腔外科学会雑誌に筆頭著者として掲載
- 3) 手術執刀症例は、100例以上
- 4) 入院症例は、担当医として診療に従事した50症例以上



カンファランス